

私の一番好きな天体

森 由貴

私の一番好きな天体は木星です。初めて木星を見たのは、中学一年のとき、シムスメーカー・レドビー第九彗星が衝突したときでした。木星を初めて見たときの印象は、すごくきれいな色をしてるんだな、ということでした。ボイジャーが撮影した写真などを見ると、少し不気味な印象があったのですが、すごくきれいな色をしてると思いました。縮模様がぼや々と見え

た、それからガリシオ衛星が、木星について行くようになっていきました。その時、丁度四個並んでいました。のがすごくかわいく、印象に残っています。

でも、今のようには木星が大好きになつたのは、中学二年のときに夏休みの自由研究で木星の研究をしましたからです。それはどんな内容かというところ、木星の写真を毎日撮つた、ガリシオ衛星の位置の変化を観察しよう、ということになります。これと天文年鑑に載っている木星

の衛星の運動図とを並べた表にしたら面白い
だろう、と思つたのです。実際、この研究を
やつたから、いつもは何となく見たいがかり
し衛星を、並べ方に注目したり、例えば右
端がカリストだ、などと考えながら見るよう
になりました。そういうふうに見ると、前ま
まはただかわいいな、と思つて見たい衛星
に更に興味がわいてきた、かりし衛星や木
星について本を調べたりして、知識も増えま
した。その他にも、天体写真が上達したこと
や、望遠鏡を外に出したついでからか、木星
以外の色々な天体を見ることかできたりと、
この研究には様々な収穫がありました。それ
も何よりも、一ヶ月間継続して観察した、と
いうことが、とても良い経験になりました。
最近では、勉強なびで忙しく、中学のときの
ように星を見る時間もなかなか無いですが、
それでも木星の見える時期は勉強を放つて見
てしまいます。大阪は空が明るいのが見れる
天体も限られていますが、もつと色々な星を

見みみたいたす。そしまいつか、仕事としま
屋を見れる目か来るように、頑張ります。